カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN
会報

≪2026年11月号（647号）≫

目　　次

報　告
・特別臨時司教総会 …… 1
・常任司教委員会 …… 2
・教会行政法制委員会 …… 2
・司祭・終身助祭生涯養成委員会 …… 3
・福音宣教司教委員会 …… 4
・青少年司牧部門 …… 4
・多文化共生司牧部門 …… 5
・学校教育委員会 …… 6
・社会司教委員会 …… 6
・カリタスジャパン …… 7
・カトリック中央協議会事務局（総務）…… 8
公文書 …… 8

特別臨時司教総会

■2026年度特別臨時司教総会

日　時　　2026年9月30日（水）9：00－10月1日（木）12：00
場　所　　潮見教会（東京・江東区）
出席者　　会　員　　17人
　　司教総会事務担当スタッフ　　6人

審　議

1.　「被造物を大切にするためのミサ」の実施について

「被造物を大切にするためのミサ」の実施について検討を行い、以下の事項を承認した。

①日本の教会において、2027 年から 9 月第 1 主日（被造物を大切にする世界祈願日）に主日のミサとしてささげるいずれのミサも(前日土曜日の夕刻のミサも含めて)、年間主日のミサではなく「被造物を大切にするためのミサ」としてささげる。

②本司教総会に提案された「被造物を大切にするためのミサ」の聖書朗読箇所の使用。

③2025 年 8 月の稟議の常任司教委員会で認可され公表されている「被造物を大切にするためのミサ」の公式祈願の日本語訳を、教皇庁典礼秘跡省による認証を受けるために同省に送付する。

常任司教委員会

■10 月定例常任司教委員会

日　時　　2026 年 10 月 1 日（木）13：00－14：30

場　所　　日本カトリック会館 8 階会議室

出席者　　委　員　　7 人

　　事務局　　6 人

報　告

1.　2027 年度予算・中期計画作成日程について

中央協議会法人事務部経理課より、2027 年度予算・中間計画作成日程が報告された。

審　議

1.　教皇庁教理省文書邦訳（2 種）の取り扱いについて

教皇庁教理省覚書『一体 ―― 一夫一婦婚の尊さ。排他的一致と相互の帰属としての結婚の価値について』の邦訳と、『希望の旅路 ―― 第二バチカン公会議『キリスト教以外の諸宗教に対する教会の態度についての宣言』に照らした諸宗教の対話と兄弟愛の 60 年』の邦訳を中央協議会ウェブサイトで公表することを承認した。

2.　「世界難民移住移動者の日」指定献金繰越内規について

『「世界難民移住移動者の日」指定献金の年度末残高及び翌年度繰越しに関する事務取扱内規』を承認した。

3.　2027 年度司教協議会年間活動方針について

本常任司教委員会に提出された日本カトリック司教協議会 2027 年度活動方針（案）を承認した。

教会行政法制委員会

■2026 年度第 3 回会議

日　時　　2026 年 9 月 2 日（水）10：00－15：00

場　所　　横浜司教館（横浜市）

出席者　　7 人

審　議

1.　教会法用語と典礼用語との整合性確認

教会法典で使用される典礼用語の邦訳について、その整合性をはかるため、典礼委員会の宮越俊光実務担当を招聘し、同委員会の『献堂式と祭壇の奉献式に関する用語案』を参考に検討した。特に「ecclesia」「oratorium」「sacellum」は、教会法と典礼における日本語訳の差異を確認する。本会合で挙げられた諸意見は、宮越実務担当を通して典礼委員会に伝え、必要に応じて今後も両委員会で調整する。

2.　（仮称）『カトリック教会法典』（改訂版）編集作業について

『カトリック教会法典』における用語の見直しについて、当委員会から修正を提案する用語一覧表と「日本における教会法施行細則」とその追加事項における修正箇所を確認した。前回に引き続き、これまでに保留とした用語や条文を再検討し、また、用語の見直しと並行して「日本における教会法施行細則」とその追加事項についても修正箇所を確認した。

司祭・終身助祭生涯養成委員会

■第７回「終身助祭の集い」

日　時　　2026 年 10 月 7 日（水）14：00－9 日（金）13：00

場　所　　仙台カテドラル・元寺小路教会（仙台市）

出席者　　16 人

講師　白浜 満（典礼委員会）、幸田和生（カリタス南相馬）、片岡義博（カリタスのと）

［テーマ「あなたがたに平和があるように」］

内　容

争いや対立が差し迫った現実となる今日、キリストの平和をどのように築くことができるか。典礼に映し出されるキリストの姿や、被災地に寄り添う教会の歩みを通して、平和を築く糧を得るとともに、助祭としての働きを見つめ直した。

◇10 月 7 日（水）

出席者それぞれが活動を報告した後、白浜満司教による「典礼――平和を生きる糧」と題した講話を受け、グループに分かれて分かち合った。

◇10 月 8 日（木）

午前は、片岡義博神父による「被災地で平和を築く」と題した講話を受け、能登半島地震からの復興支援の歩みに触れた。午後は、福島県浪江町の大平山霊園や東日本大震災・原子力災害伝承館などを視察した。幸田和生司教からは、「ともなる歩み――震災・原発事故と教会のあり方」と題して説明を受け、原町教会で分かち合いを行った。

◇10 月 9 日（金）

前日までの 2 日間を振り返り、「平和の道具として」をテーマにグループで分かち合いを行った。最後に、仙台教区の信者とともにミサをささげ、集いを締めくくった。

福音宣教司教委員会

■2026 年度 第 2 回福音宣教司教委員会・秘書合同会

日　時　　2026 年 9 月 30 日（水）14：15－16：15
場　所　　潮見教会　信徒会館 1 階（東京・江東区）
出席者　　20 人

趣　旨

2025 年 6 月に発足した福音宣教司教委員会と、その傘下にある委員会・部門の位置づけを確認し、課題や展望を共有するとともに、相互の連携による福音宣教の可能性について意見を交わすため、各委員会・部門の秘書との合同会を開催した。

報　告

1. 組織改編の趣旨と各委員会・部門の位置づけ
   事務局担当司教から、2025 年の司教協議会の組織改編の趣旨と、各委員会・部門の位置づけについて説明された。
2. 福音宣教司教委員会における議論の共有
   過去 3 回の福音宣教司教委員会で出された主な意見が紹介された。教会のすべての働きを福音宣教として捉えること、福音宣教の主体である各教区・信者を支えること、活動報告にとどめず、共通課題の検討や委員会・部門間の連携につなげることなどが取り上げられ、秘書らに意見や助言が求められた。

審　議

1. 各委員会・部門の課題と連携の可能性
   参加者全員が発言し、各委員会・部門の活動と課題を共有した。とくに秘書らからは、現場での具体的な課題が報告され、対応の可能性や、委員会・部門の垣根を越えた連携について意見や提案が出された。
2. 日本における福音宣教の戦略的分析
   日本社会と日本の教会の変化を司教団として分析し、将来を見据えた福音宣教の方向性を検討することが提案された。社会や価値観の変化に加え、信徒数の減少や国籍構成の変化を統計資料等も用いて把握し、その分析結果を踏まえて、本委員会が宣教のあり方を提案する体制を整える必要性が示された。

次回日程　2027 年 2 月開催の「2026 年度臨時司教総会」会期中

青少年司牧部門

■WYD ソウル大会合同説明会

日　時　　2026 年 10 月 2 日（金）10：00－16：00
場　所　　真生会館（信濃町）3 階集会室
出席者　　43 人、　オンライン　14 人

報　告

1.　本説明会について

教区の WYD 担当者、WYD への参加を検討している修道会・カトリック大学の担当者、外国籍信徒グループ関係者を対象に、説明会を開催した。

2.　WYD ソウル大会第 2 回国際準備会議

9 月 13 日（日）－17 日（木）にソウル市内で開催された、第 2 回国際準備会議で共有された情報のうち、参加登録の形式、ビザに関する事項、未成年者を引率する際の条件などについて、質疑応答を交えながら説明を行った。

3.　日本からの巡礼団について

日本からの参加登録は、一つのマクログループ（上限 5000 人）の下に、青少年司牧部門の巡礼団、修道会の巡礼団、言語別グループの巡礼団など、すべての巡礼団をサブグループとして登録する方針である。同じマクログループに属することで、各巡礼団の宿泊先やカテケージス会場が互いに近い場所に配置される見込みである。

審　議

1.　WYD ソウル大会中の「アジアの青年と司教の集い」

FABC（アジア司教協議会連盟）信徒家庭局の秘書から、WYD ソウル大会中の開催が検討されている「アジアの青年と司教の集い」について説明を受けた。その後、グループに分かれ、期待するプログラム、青年が司教に求めること、日本として協力できることについて意見交換を行った。今後、青年から聴取する意見も踏まえて日本としての意見をまとめ、各国代表が参加する FABC のオンライン会議で伝える予定である。

次回日程　2027 年 5 月または 6 月中に同伴者会議予定

多文化共生司牧部門

■スペイン語話者司牧者の集い（APALA）2026 年度第 14 回総会

日　時　　2026 年 9 月 25 日（金）16：00－9 月 26 日（土）15：30

場　所　　三位一体の聖体宣教女会（東京・東村山市）、ハイブリッド

出席者　　12 人

［テーマ「これらの小さな者を一人でも」（2026 年世界難民移住移動者の日テーマ）］

◇9 月 24 日（金）

16：00　聖体賛美式（対面）

20：00－21：00　イリネル・ドボシュ神父（亀有教会主任）による講話を ZOOM にてライブ配信。すべての人間の尊敬、各々の存在を顔として認識すること、自分を小さくして、特に移民のこどもの苦労を身近に感じられるものにすること。受け入れればイエス様を受け入れることなる、という観点からの講話であった。

◇9 月 25 日（土）9：00－15：30（ハイブリッド）

APALA JAPON 2025－2026 活動報告（PPT）

内容　各教区の取り組み、宣教活動の喜びと困難、今後の課題について共有した。

ミサ　山野内倫昭司教、その他 3 人の司祭と会議参加者によるスペイン語ミサ。ギターと太鼓の伴奏を交えたミサの様子は ZOOM を通して全国に同時配信された。

ミサでは日本で長年活動して APALA 総会を促進し、9 月 8 日にルアンダで帰天したアナ・マリア・ゴンザレズ修道女のために祈りをささげた。

学校教育委員会

■第 204 回学校教育委員会

日　時　　2026 年 10 月 1 日（木）17：00－19：00

場　所　　日本カトリック会館　8 階会議室、ハイブリット

出席者　　4 人、　オンライン　9 人

報　告

1. 福音宣教司教委員会　秘書合同会議（2026.9.30）報告
   中野委員長と山崎秘書から概要が報告された。福音宣教委員会について、組織図と構成委員会（部門）が説明され、今後は横の連携を強化し協力関係を深めていく方向性が示された。
2. カトリック学校実態調査協力校へのお礼状発送の報告
   小林委員と事務局より実態調査協力校への礼状の発送が 9 月初めに完了したことが報告された。

審　議

1. 「集い」について
   開催形式、テーマ、事前アンケート、分かち合いの取り入れ方について意見交換を行った。
   カトリック学校の進むべき道について、子供たちに何を伝えられるか？そしてカトリック学校はどんな貢献ができるのか？という大きなテーマを参加者自身が話し合う方向での開催を申し合わせた。
2. 学校教育委員会の活動の可能性について
   新任理事長・校長へのフォローは学校連合会へ委託することが提案され、合意された。
   日本のカトリック学校の特色を乗り越えた当委員会の活動と小教区や地域（非カトリックの団体）へのアプローチについては継続審議となった。

次回日程　2026 年 11 月 13 日（金）17：00－19：00 予定

社会司教委員会

■2026 年度第 2 回社会司教委員会

日　時　　2026 年 9 月 29 日（火）－30 日（水）

場　所　　日本カトリック会館　7 階会議室

出席者　　7 人

報　告

1.　旧委員会の動き

難民移住移動者委員会、正義と平和協議会、子どもと女性の権利擁護部門、部落差別人権委員会、タリタクム日本、HIV/AIDS 部門のこれまでの事業について、今後の継続のための現状と課題を確認した。

審　議

1.　いのち・平和・人権委員会における司教の役割

いのち・平和・人権委員会の業務の 3 つの柱について検討を行った。

①メッセージの発表について

今後、沖縄慰霊の日、世界難民移住移動者の日、祈りと償いの日、3.11 東日本大震災など、毎年特定の日に、その日の意味を喚起するためのメッセージ、および、社会の諸問題に対する時宜に則したメッセージを発表する。

②教区との連携について

10 月 16 日に予定している全国担当者会議での担当者との対話をもとに、今後検討する。

③市民運動、諸団体との連携について

特定の問題に取り組む教区や管区、司祭、修道者、信徒と信頼関係を構築し、市民運動への参加に協力し、それらの問題にカトリック教会として取り組んでいることを教会内外に示していく。

カリタスジャパン

■2026 年度第 4 回カリタスジャパン事務局会議

日　時　　2026 年 10 月 9 日（金）10：00－12：00

場　所　　ウェブ会議

出席者　　11 人

報　告

1.　7 月から 9 月末までの募金額ならびに、昨年 12 月から 11 月四旬節献金額
2.　熊本地震発災後福岡教区のサポートに入っている CJ-ERST は、10 月末で現地での活動を終了する
3.　リーフレット、ニュースレター（We Are Caritas）33 号、ウェブページの改訂の進捗状況
4.　前回会議（9 月 4 日）以降に送金した国内外緊急案件
5.　9 月 24－25 日に開催された、事務局リトリートについて

審　議

1.　2027 年度予算案が提示され、新しく加わった活動について意見交換した
2.　11 月 4 日カリタスジャパン委員会の議事と会議の流れを確認し、承認した

カトリック中央協議会事務局

■総務

11 月会議予定

2 日(月)	いのち・平和・人権委員会	日本カトリック会館
2 日(月)	いのち・平和・人権委員会事務局会議	〃
4 日(水)	教会の祈り小委員会	〃
4 日(水)	リニューアル・プロジェクト定例会議	〃
4 日(水)	第 7 回多文化共生司牧部門会議	ウェブ会議
5 日(木)	常任司教委員会	日本カトリック会館
5 日(木)	広報 3 部署会議	〃
5 日(木)	第 12 回セーフガーディング委員会	〃
9 日(月)	衛生委員会	〃
9-10 日(月ー火)	全国教区広報担当者会議	潮見教会(東京・江東区)
11 日(水)	カルト問題キリスト教連絡会定例会議	日本カトリック会館
13 日(金)	第 205 回学校教育委員会	ウェブ会議
16-19 日(月ー木)	第 28 回日韓司教交流会	韓国(全州教区)
20 日(金)	ラウダート・シ部門会議	ウェブ会議
23 日(月)	聖書・教理部門「聖書に親しむ講座」	玉造教会(大阪市)
25 日(水)	リニューアル・プロジェクト事前定例会議	日本カトリック会館
26-27 日(木ー金)	災害時の緊急対応支援チーム（ERST）会議	〃

<会報 2026 年 11 月号　公文書>

2026 年第 41 回「世界青年の日」教皇メッセージ(2026.11.22)

「勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている」(ヨハネ 16･33)

(https://www.cbcj.catholic.jp/2026/11/06/41152/)

カトリック中央協議会　「 会報 」　2026 年 11 月号（通巻 647 号）
発行日　2026 年 11 月 10 日
発行　　宗教法人カトリック中央協議会　　https://www.cbcj.catholic.jp
〒135-8585　東京都江東区潮見 2-10-10　電話 03-5632-4411　Fax 03-5632-4457